

科目コード	N20103	科目名	生命と遺伝子(生命倫理学)				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	田中 健						
授業の概要	医療は日進月歩で変化していきますが、法の制定はそのスピードに追いつくことができません。また、医療はひとの「生き方(死に方)」に関わる営為であり、法による規制になじまない事ながらも含んでいます。そのため、医療と法との間には埋めることが難しい隙間がどうしても生じてしまいます。こうして、「適法/違法」という観点だけではなく、「倫理的/非倫理的」という観点が必要になってきます。この授業では「倫理的/非倫理的」という観点が求められる現代的なトピックを取り上げ、解説・考察していきます。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						-
	豊かな教養を身につける						-
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						-
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						-
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						-
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						-
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						-
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						-
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						-
	DP: ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) = 卒業までに身に付けるべき資質・能力						-
到達目標	生命倫理において取り上げられるトピックについて基本的な知識を身につけ、現在議論されている生命医療倫理の問題について、医療の専門家として自分なりの見識を示せるようになること。						
履修上の注意事項	私語は禁止します。また、遅刻は他の受講生の迷惑になりますので避けて下さい。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	受講ガイダンス/倫理と法				事前学修: 不要 事後学修: 30分。	
	2	生殖技術の倫理問題(1): 技術の概要				事前学修: 20分 事後学修30分	
	3	生殖技術の倫理問題(2): 生殖技術をめぐる事件				事前学修: 20分 事後学修30分	
	4	生殖技術の倫理問題(3): 生殖技術の規制				事前学修: 20分 事後学修30分	
	5	脳死と臓器移植の倫理問題(1): 脳死とはどのような状態か				事前学修: 20分 事後学修30分	
	6	脳死と臓器移植の倫理問題(2): 脳死判定基準の意味				事前学修: 20分 事後学修30分	
	7	守秘義務の倫理問題: 個人情報の扱いをめぐって				事前学修: 20分 事後学修30分	
	8	安楽死・尊厳死の倫理問題(1): 安楽死とはどのような行いか				事前学修: 20分 事後学修30分	
	9	安楽死・尊厳死の倫理問題(2): 安楽死事件の判例				事前学修: 20分 事後学修30分	
	10	安楽死・尊厳死の倫理問題(3): 「死の自己決定」の拡大				事前学修: 20分 事後学修30分	
	11	科学としての医学: 自然科学の論理と人体実験				事前学修: 20分 事後学修30分	
	12	インフォームド・コンセント: 成立の歴史的背景				事前学修: 20分 事後学修30分	
	13	人工妊娠中絶の倫理問題(1): 母体保護法成立までの制度の変遷				事前学修: 20分 事後学修30分	
	14	人工妊娠中絶の倫理問題(2): プロライフ(中絶反対派)の主張				事前学修: 20分 事後学修30分	
	15	人工妊娠中絶の倫理問題(3): プロチョイス(中絶容認派)の主張				事前学修: 20分 事後学修30分	
成績評価方法	定期試験80%、コメントペーパー20パーセントで評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者(出版社)					ISBNコード	
	使用しない。プリントを配布。						
参考書	『マンガで学ぶ生命倫理』、児玉聡・なつたか(化学同人)					ISBN978-4-7598-1542-9	
教員からのメッセージ	予習より復習を重視して下さい。また、紹介する問題について「自分ならどう考えるか」を文章のかたちでまとめてみて下さい。そうすることで、自分の立場が明瞭になります。						
教員との連絡方法	非常勤講師ですので、授業日だけ大学にいます。ご質問は授業終了後に教室で受け付けます。						
実務経験のある教員							